

明治グループ2026中期経営計画 マテリアリティ・KPI一覧

活動テーマ	ドメイン	マテリアリティ	サブトピック	中長期の目指す姿	主な取り組み	指標 (KPI)	データ対象範囲 または 取り組み主体会社	参考実績	目標				
								2022年度	2026年度				
健康・栄養	健康と栄養	健康な食生活への貢献	食のリーディングカンパニーとして、地域やライフステージごとに異なる健康と栄養の課題に向き合い、科学的なアプローチで栄養価値を評価し、人々の健康な食生活に貢献している。	<ul style="list-style-type: none"> 明治栄養プロファイリングシステム (Meiji Nutritional Profiling System: Meiji NPS) による自社商品の栄養価値の評価実施および今後の栄養価値向上に向けた基礎データの整備 Meiji NPSにおける評価対象ライフステージの拡大 健康な食生活・食文化の普及・啓発に向けた食育活動の拡充 健康志向食品などサステナブルな取り組みを重視するブランド群の拡大 ”咀嚼～嚥下”のプロセスにおける、嚥下運動の可視化、新たな模擬装置の開発、実験方法の確立 	<ul style="list-style-type: none"> Meiji NPSによる自社商品評価比率 (売上高比率) <small>※(株)明治が国内で製造販売する商品のうち、業務用の商品、特殊な栄養設計を行っている商品、委託製造品を除く全商品</small> 完成のターゲット年度 3年間の食育活動の延べ参加人数 体験型イベントの実施回数 	明治 単体	N/D	対象商品の売上高比率 90%以上					
					<ul style="list-style-type: none"> スフロービジョン®により可視化・分析した医用画像の事例数 加齢に伴う咀嚼特性変化を反映した模擬実験法の確立 模擬送り込み装置による食塊の閉塞因子を評価する方法の確立 	明治 単体	N/D	嚥下運動事例数：10例 高齢者の咀嚼を模擬する実験法に関する論文公表 食塊の閉塞因子評価方法に関する論文公表					
					KPIに関しては、食品セグメントの「明治ROESG®※対象のブランド群」の指標 (売上高年度計画の達成) と同一 ※「ROESG」は一橋大学教授・伊藤邦雄氏が開発した経営指標で、同氏の商標です								
					新興・再興感染症の脅威	新興感染症	再興感染症	<p>感染症領域におけるアジアのリーディングカンパニーとして、予防から治療にわたる医薬品を中心としたソリューションを提供し、感染症の高まる脅威から人々を守っている。</p>	<p>COVID-19</p> <ul style="list-style-type: none"> レプリコンワクチン「コスタイベ筋注用®」を上市および国内供給体制の整備 	国内製造供給比率	MSP 単体	N/D	30%以上
									<p>COVID-19</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児を対象とした安全で有効な不活化ワクチン「KD-414」の上市および国内供給体制の整備 	ワクチン供給量 (生産能力ベース) <small>※実際の供給量は感染状況で変わるため、生産能力ベースの指標とする</small>	MSP、KMB 単体	N/D	150万回分
									<p>デング熱</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進的研究開発戦略センター (SCARDA) の公募事業への参画による、デングワクチン「KD-382」の開発 	開発Phaseの進捗	KMB 単体	N/D	臨床試験Phase 2 (人での用量確認試験) の開始 <small>※2032年度の上市を目指す</small>
					堅牢なサプライチェーン構築による医薬品の安定供給	AMR (薬剤耐性菌)	-	国内とグローバルに堅牢なサプライチェーン体制を確立し、高品質で経済的な医薬品を安定的に提供する。	<p>薬剤耐性菌</p> <ul style="list-style-type: none"> カルバペネム耐性腸内細菌に対するβ-ラクタマーゼ阻害剤「OP0595」の開発 	承認を取得する国数	MSP 単体	N/D	承認取得1カ国以上
									<ul style="list-style-type: none"> 安定確保医薬品 カテゴリA製品 (「バンコマイシン」「メロペネム」「スルバシリン」「タゾピベ」) の在庫月数のコントロールによる安定供給体制の確立 海外依存度の高いペニシリン原薬の国内生産体制の構築 (岐阜工場における製造設備導入) ワクチンおよび血漿分画製剤の安定供給体制の確立 	安定供給を確保できる在庫月数	MSP 単体	N/D	各製品6カ月
									<ul style="list-style-type: none"> 岐阜工場の生産稼働開始ターゲット年度 	製品欠品回数 <small>※(欠品の定義) 自社起因の欠品に限定</small>	MSP、KMB 単体	N/D	0回
					安全・安心	製品品質の安全性・信頼性	食品の安全性と品質保証	食薬の領域でグローバルに事業拡大をする中で、品質保証と安全管理の業務を適切に実施し、製品回収ゼロを継続的に実現している。	<ul style="list-style-type: none"> 明治グローバル品質方針(Meiji's Quality Policy)に基づく「明治 品質コミュニケーション (Meiji Quality Comm)」活動の推進による品質への取り組み強化 	<ul style="list-style-type: none"> 重大品質事故件数 <small>※重大事故の定義：法令違反による回収および表示ミスや品質不良による自主回収を行った案件 (海外含む)</small> 協力会社 (製品の委託/仕入れ先) 全拠点でのGFSI承認規格取得率 重点管理原料サプライヤーの工場監査率 	明治 連結	0件	0件
									<ul style="list-style-type: none"> 新分野およびグローバル展開に対応した信頼性保証体制の強化 製品ライフサイクル全般にわたる信頼性保証システムの変革 品質マネジメントレビューの着実な実施と信頼性保証活動 (製造所監査、安全管理業務など) の徹底による未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> 製販品目における回収などの重大不適合の発生件数 規制当局対応における重大な指摘件数 	明治 連結	N/D	100%
							<ul style="list-style-type: none"> 製販品目における回収などの重大不適合の発生件数 		MSP 連結	N/D	0件		
<ul style="list-style-type: none"> 規制当局対応における重大な指摘件数 	MSP 連結	N/D	0件										

明治グループ2026中期経営計画 マテリアリティ・KPI一覧

活動テーマ	ドメイン	マテリアリティ	サブトピック	中長期の目指す姿	主な取り組み	指標 (KPI)	データ対象範囲 または 取り組み主体会社	参考実績	目標	中長期目標		
							2022年度	2026年度	2030年度	2050年度		
環境との調和	脱炭素社会	気候変動	CO ₂ 排出量の削減	省エネ・創エネ活動の強化、再生可能エネルギーの活用、酪農分野でのGHG排出量削減などによりサプライチェーン全体のCO ₂ 排出量の削減を図り、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す。	省エネ・創エネ活動の強化、カーボンクレジットの活用などによるScope1, 2におけるCO ₂ 排出量の削減	Scope1, 2 排出量削減率 (基準年2019年度比)	明治G 連結	14.9%	32%以上	50%以上	カーボンニュートラル	
			再生可能エネルギーの活用		酪農分野でのGHG排出量削減、容器包装材料の使用量削減、サプライヤーとの連携強化などによるScope3におけるCO ₂ 排出量の削減	Scope3 排出量削減率 (基準年2019年度比) <small>※範囲 (調達・物流・廃棄 カテゴリ1, 4, 9, 12)</small>	明治G 連結	2.9%	15%以上	30%以上		
					太陽光発電設備の導入拡大、再エネ由来電力の活用強化による再生可能エネルギーへの移行推進	再生可能エネルギー比率 <small>※比率: 総使用電力量に占める割合</small>	明治G 連結	9.5%	30%以上	50%以上		100%
	循環型社会	資源循環	容器包装のライフサイクル管理	3R (Reduce, Reuse, Recycle) + Renewable の取り組みに加え、資源投入量・消費量を抑えながら付加価値を生み出す活動を推進することで、製品価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制などを図り、サーキュラーエコノミーへの移行を目指す。	環境配慮型素材の研究開発を進めながら、プラスチック容器包装のリデュース推進	プラスチック使用量 (総量) の削減率 (基準年2017年度比)	明治 連結 (国内のみ)	18.3%	25%以上	30%以上	ゼロエミッション	
			食品ロス削減		再生プラスチック、バイオマスプラスチックの活用強化によるバージンプラスチックの使用量削減	バージンプラスチック使用量の削減率 (基準年2017年度比)	明治 連結 (国内のみ)	N/D	40%以上	50%以上		100%
					PETボトルに使用する再生プラスチック使用比率の拡大	再生PETの使用比率	明治 連結 (国内のみ)	N/D	70%以上 (2025年度目標)	100%		
			廃棄物の削減・再生		需給精度の向上による不良在庫削減、賞味期間の延長、賞味期限の年月表示化などによる食品ロスの削減	食品事業における製品廃棄量の削減率 (基準年2016年度比)	明治 連結 (国内のみ)	31.5%	50%以上 (2025年度目標)			
					生産 (原料廃棄など) から販売 (返品製品の廃棄) までのサプライチェーン上における食品廃棄物削減の推進	食品廃棄総量の削減率	明治 連結 (国内のみ)	N/D	2024年度中に目標設定			
			水資源		水資源	-	水使用量の継続的な削減に加え、水源涵養など水源保全活動への積極的な取り組みによりウォーターニュートラルを実現している。	工場での排出物の発生抑制などによる最終処分量の削減	再資源化率	明治G 連結 (国内のみ)		86.2%
	動物性残渣の再資源化 (飼料化、肥料化、メタン発酵等) などによる食品廃棄物の削減	食品事業における食品リサイクル率		明治G 連結 (国内のみ)				N/D	95%以上			
	生物多様性	生物多様性	地域生態系の保護	事業活動に伴う生物多様性・自然への依存と影響を把握し、生物多様性の損失に歯止めをかけ、自然環境に対してポジティブな影響を与える取り組みを積極的に行うことで自然との共生を目指す。	自然共生サイトへの認定登録の推進 <small>※OECD国際データベースへの登録</small>	新規認定区域数	明治G 連結 (国内のみ)	N/D	新規登録 1 件 (累計2件)			
			森林減少と劣化の回避		森林保全活動を行うための保守管理契約の締結	保守管理契約をする森林面積	明治G 連結 (国内のみ)	N/D	40ha以上			
生乳、カカオを対象とした、TNFDフレームワークに沿った分析、対応策の策定 カカオ、パーム油など主要原材料の森林減少への取り組み推進					KPIに関しては、「人権・環境に配慮した原材料調達」の【カカオ豆】【パーム油】における森林減少ゼロに向けた取り組みと同一 (※1) (※2)							

明治グループ2026中期経営計画 マテリアリティ・KPI一覧

活動テーマ	ドメイン	マテリアリティ	サブトピック	中長期の目指す姿	主な取り組み	指標 (KPI)	データ対象範囲 または 取り組み主体会社	参考実績	目標
							2022年度	2026年度	
豊かな社会づくり	社会	バリューチェーンにおける人権の尊重	差別とハラスメント/児童労働/強制労働などの人権侵害	自社のバリューチェーン上における人権課題を認識し、社員一人一人が自分ごととして捉え、その対応に取り組んでいる。	人権尊重に関する人権教育の実施	国内グループ全社員に対する人権教育の実施率	明治G 連結	受講率：92%	受講率90%以上 ※年1回の受講
					海外における人権デュー・ディリジェンスの強化	海外グループ会社社員に対する人権教育の実施回数	明治G 連結	受講率：84%	1回以上 ※3年間での受講
						海外リスク国の人権影響評価実施国数	明治G 連結	N/D	3カ国
		高い倫理観に基づいたマーケティング	-	サプライチェーン下流でのマーケティングによる影響を理解し、人権や環境に配慮した適切なコミュニケーションを実施している。	責任あるマーケティングコミュニケーションポリシーの制定および社員教育の実施	ポリシー制定のターゲット年度	明治G 連結	N/D	2024年度中
					ポリシー内容周知のための勉強会実施回数	明治G 連結	N/D	年1回以上	
	人財	多様な人財の成長と活躍	人財開発	社員と会社が共に成長している。 ～イキイキと働く多様な人財が新たな価値を創出～	グローバルビジネス人財像の定義とそのスキル・能力向上に向けた人財育成プログラムの実施	グローバルビジネスで活躍するスキル・能力を持った人財の充足	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	N/D	人財ポートフォリオ完成後、目標設定
					次期グループ経営を担う人財の早期選抜、育成プログラムの実施	グループ経営の重要ポジションに対する人財プール人員数	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	14人	30人以上
					自律的なキャリア開発意識の醸成と人財開発体系の整備	社内の自主参加型研修への参加率	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	N/D	研修体系整理後、目標設定
			ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン		女性社員のキャリア支援・意識醸成、多様な人財の活躍を推進する管理者マネジメントスキルの強化	執行役員における女性比率	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	2.4%	5%以上
					キャリア人財の積極採用・オンボーディング施策の推進、アルムナイとのつながり強化・採用促進	管理職における女性比率	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	5.6%	12%以上
海外グループ会社との人財交流強化、海外人財の採用スキーム確立					管理職におけるキャリア人財比率	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	10.4%	20%以上 (2040年度目標)	
働きやすい職場環境づくり			【統合KPI】 ①人財の価値創出率 (労働時間当たりの営業利益)		男性育児を推進する人事制度の整備、男性社員および職場での意識醸成	男性育児休業取得率	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	91.1%	100%
			②社員エンゲージメント		誰もが働きやすい職場環境づくり	誰でもトイレ、個室更衣室 事業所設置率	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	トイレ:45.5% 更衣室:9.1%	100%
			※2024年度実績を確認後、目標値を設定		生活習慣改善、病気の早期発見、メンタルヘルス対策に関する施策の実施	アブセンティーズム	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	0.46%	0.3%以下
					食生活改善、運動習慣の推進、禁煙施策の実施	プレゼンティーズム (損失)	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	21.9%	15%以下
					スマートワーク推進による働き方改革、各職場における業務見直し	適正体重維持者率	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	65.4%	毎年改善
					安全教育による意識醸成、設備面の安全性強化	年次有給休暇取得率	明治HD、明治、MSP、KMB 単体	71.9%	80%以上
			重大労働災害件数	明治G 連結 (国内のみ)	1件	0件			

明治グループ2026中期経営計画 マテリアリティ・KPI一覧

活動 テーマ	ドメ イン	マテリアリティ	サブトピック	中長期の目指す姿	主な取り組み	指標 (KPI)	データ対象範囲 または 取り組み主体会社	参考実績	目標	
							2022年度	2026年度		
共通	持続可能な調達活動	人権・環境に配慮したサプライチェーンの構築	サプライチェーン管理	サプライヤーと連携・協力してサプライチェーン全体で人権・環境などの社会的責任に配慮した調達活動に取り組み、責任あるサプライチェーンを確立している。	<ul style="list-style-type: none"> サステナブル調達アンケートの結果分析によるリスク評価、監査を含むエンゲージメントの実施 メイジ・デイリー・アドバイザー (Meiji Dairy Advisory : MDA) を通じた、酪農現場の人材マネジメントによる人の成長および人権、アニマルウェルフェア、GHG排出量削減などの社会課題の解決支援 	重要サプライヤーへの監査実施数	明治G 連結	N/D	累計30社以上	
						海外グループ会社サプライヤーに対するリスク評価実施	明治G 連結 (海外のみ)	N/D	2024年度中に目標設定	
						Meiji Dairy Advisory (MDA) 取り組み戸数	明治 連結 (国内のみ)	44戸 (累計)	累計100戸以上	
			持続可能な原材料調達	個々の原材料についてトレーサビリティの確立に努め、原材料生産地での人権・環境などに関わる社会課題を把握し、その課題解決により持続可能な原材料調達を実現している。	生乳	<ul style="list-style-type: none"> 酪農家におけるGHG排出量削減に向けた取り組みの推進 	GHG排出量削減に取り組む酪農家戸数	明治 単体	2戸 (累計)	累計30戸以上
					カカオ	<ul style="list-style-type: none"> メイジ・カカオ・サポート (Meiji Cocoa Support : MCS) を通じ、農家支援を実施した地域で生産された明治サステナブルカカオ豆の調達拡大 	明治サステナブルカカオ豆の調達比率	明治 単体	62%	100%
					カカオ	<ul style="list-style-type: none"> 全ての調達先における農園までのトレーサビリティの確立 	カカオ農園までのトレーサビリティ比率	明治 単体	100% ※対象範囲：ブラジル、ドミニカ、エクアドル、メキシコ、ベトナム	100% ※対象範囲：ガーナを含む全ての国における調達先
					カカオ	<ul style="list-style-type: none"> 児童労働監視改善システム (CLMRS) もしくは同等のシステムの導入による、児童労働ゼロに向けた取り組みの推進 	児童労働監視改善システム導入率	明治 単体	N/D	100% ※対象範囲：ガーナの調達先 ※2030年度までに全ての調達先
					カカオ	<ul style="list-style-type: none"> GPSマッピングなどによる農園の実態把握と森林の保護・回復を目的とした取り組みの推進 	GPSマッピング等の実態把握率 (※1)	明治 単体	N/D	
					パーム油	<ul style="list-style-type: none"> 森林モニタリングを通じたサプライチェーン上の森林減少のリスクの特定・検証による、森林減少に関与していないパーム油の調達推進 	森林減少に関与していないパーム油の調達比率 (※2)	明治 連結	N/D	2024年度中に目標設定
					大豆 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> 第一集荷所までのトレーサビリティの確立もしくは認証品の調達 ※第一ステップで食用、第二ステップで飼料含む 	対象原料 (検討中) のトレーサビリティ比率 ※第一集荷所まで	明治 連結	N/D	2024年度中に目標設定
			紙	<ul style="list-style-type: none"> 製品の容器包装の環境配慮紙100%維持および事務用品や定型発行情物の環境配慮紙への切り替え ※対象範囲：事務用品、定型発行情物 	拡張した対象範囲における環境配慮紙の比率 ※対象範囲：事務用品、定型発行情物	明治G 連結	N/D	100%		